

IBM Kenexa LMS on Cloud

本「サービス記述書」は「クラウド・サービス」について規定するものです。適用できる注文関連文書には、お客様の発注に関する価格設定および追加的な詳細情報が記載されています。

1. クラウド・サービス

1.1 オファリング

お客様は、利用可能な以下のオファリングから選択することができます。

1.1.1 IBM Kenexa LMS on Cloud

クラスルーム学習、オンライン学習およびモバイル学習をサポートする、コースの管理、文書化、追跡、レポートおよび提供を行うための構成可能な「学習管理システム」。安全な環境でソーシャル・ソフトウェア機能を使用、統合することによって、同僚および専門家が学習をサポートします。本「クラウド・サービス」には、1つの実稼働サイトおよび1つの非実稼働サイトに対する使用許諾が含まれます。

「非実稼働」とは、「クラウド・サービス」がお客様の社内での非実稼働活動に対してのみ使用できることをいいます。この活動には、テスト、ステージング、品質保証アクティビティ、または公開されたアプリケーション・プログラミング・インターフェースを使用した、「クラウド・サービス」に対する内部使用の追加機能または拡張機能の開発などが含まれます。お客様は、「クラウド・サービス」のいかなる部分も、実稼働に関する適切な使用許諾を取得せずに、その他の目的で利用することはできません。「SLA」は非実稼働サイトについては適用されません。

1.2 オプション・サービス

IBM Kenexa LMS on Cloud 向けのオプション機能 (初回の実装サービス後に利用可能)

1.2.1 IBM Kenexa LMS on Cloud Human Resource Synchronization

これによりお客様は、お客様の現在の HR 情報システムから LMS ユーザーと同期をとることができます。IBM は、ユーザーのインポートのためのフォーマットを提供します。お客様は、指定されたフォーマットでユーザーのインポートを実行する責任を負います。この機能の導入、設定、およびデータ検証を支援するために、最大 8 時間のリモート・コンサルティング・サービスが提供されます。すべての時間数が使用されたか否かに関わらず、このサービスは購入日から 90 日後に終了します。

1.2.2 IBM Kenexa LMS on Cloud Data Import

LMS への研修履歴データのインポートを可能にします。履歴データは、Excel スプレッドシートで提供する必要があります。IBM は、履歴データのインポートのためのフォーマットを提供します。お客様は、Excel スプレッドシートを使用して、指定されたフォーマットで、履歴データのインポートを提供する責任を負います。この機能の導入、設定、およびデータ検証を支援するために、最大 8 時間のリモート・コンサルティング・サービスが提供されます。すべての時間数が使用されたか否かに関わらず、このサービスは購入日から 90 日後に終了します。

a. IBM Kenexa LMS on Cloud LDAP Support

- LMS と、LDAP プロトコルを使用している第三者のディレクトリー・サーバーとを統合します。

b. IBM Kenexa LMS on Cloud Additional Adaptive Report

- 標準でサポートされているレポートの他に、追加レポート機能を提供します。レポートは、標準的なデータベースに含まれたデータに限定され、標準的なデータベースに対する修正は含まれません。

c. IBM Kenexa LMS on Cloud eCommerce Integration

- LMS を e- コマースと連動させることができます。

- d. IBM Kenexa LMS on Cloud Additional Language
 - IBM Kenexa LMS on Cloud で提供される基本の言語パック以外の言語サポートに対する追加の言語パックを提供します。
- e. IBM Kenexa LMS on Cloud Additional Non-Production Hosted Site
 - 内部のテストまたは研修のために使用することのできる追加のステージング・サイトに対する使用権をお客様に付与します。

2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

IBM のデータ処理補足契約書 (<http://ibm.com/dpa> に公開。「DPA」)のほか、下記リンクの「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(データ・シートまたは「DPA 別表」)にも、「クラウド・サービス」およびそのオプション(処理対象の「コンテンツ」の種類、発生する処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却についての仕様書に関連)に関する追加的なデータ保護情報が記載されています。EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR) が「コンテンツ」に含まれる個人データに適用される場合に、その適用範囲に限り、DPA が適用されます。

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=1413342265674>

3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

3.1 サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント (以下「SLA」といいます。)をお客様に提供します。IBM は、下表のとおり、「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。「可用性」は、契約月における分単位の総時間数から、契約月における「サービス・ダウン」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。「サービス・ダウン」の定義、請求のプロセス、サービスの可用性の問題に関して IBM に連絡する方法については、IBM の「クラウド・サービス」のサポート・ハンドブック (https://www.ibm.com/software/support/saas_support_overview.html)に掲載されています。

可用性	クレジット (月額サブスクリプション料金のパーセント*)
99.9% 未満	2%
99.0% 未満	5%
95.0% 未満	10%

*サブスクリプション料金は、請求対象月に関して約定した料金です。

3.2 テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポート(サポート窓口の連絡先情報、重大度レベル、サポート利用可能時間、応答時間、その他のサポート情報およびサポート・プロセスなど)を参照するには、IBM サポート・ガイド (<https://www.ibm.com/support/home/pages/support-guide/>)の「クラウド・サービス」を選択します。

4. 料金

4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「取引文書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- 「アクセス」とは、「クラウド・サービス」の機能にアクセスするための権利です。
- 「適格参加者」とは、「クラウド・サービス」が管理または追跡するサービス提供プログラムに参加できる個人または法人です。

- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成への各アクセスを意味します。

5. 追加条件

2019年1月1日よりも前に締結されるクラウド・サービス契約(または同等のクラウド基本契約)については、<https://www.ibm.com/acs>に掲載されている条件を適用します。

5.1 検証

お客様は、i) IBM およびその独立監査人がお客様の本契約の遵守状況を検証するために合理的に必要な記録、システム・ツールからの出力を保持し、要求に応じて提供し、ならびに ii) かかる検証の結果必要と判断された使用許諾を、IBM のその時点で最新の料金ですみやかに注文して支払うほか、その他の料金および債務を、IBM の請求書の記載に従い支払うものとします。これらの遵守状況検証義務は、該当する「クラウド・サービス」の有効期間中、およびその後の2年間有効に存続します。